

災害発生時における対応について

平素より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校では、地震等の災害発生時における学校からの情報発信、及び安否情報収集の方法につきまして、下記のような対応を行っています。新学年を迎えるにあたり、ご家庭におかれましても家族間の連絡方法、緊急時避難場所等につきまして、ご家族で確認されるようお願いいたします。

記

1 緊急時の学校あて安否情報連絡について（生徒 → 学校）

登下校中・休日・深夜早朝など、生徒が学校にいない時間に大きな災害が起こった場合、学校は全校生徒の安否確認を行います。そのような場合には以下の方法で学校に連絡してください。

● インターネットなどの通信インフラが利用可能な場合
クラッシーで連絡してください。

全員が電話連絡を行おうとすると、数百件の着信が一斉に学校に集中することになり、他の連絡に電話が使用できなくなります。

クラッシーでの連絡を優先してください。

特に連絡事項がある場合のみ、本文欄に書き込むようにしてください。

① タイトル欄に、「学年・組・番号（以上半角英数字）・（半角開けて）氏名 安否 所在場所」を入力してください。

例 タイトル欄に「1A40 淵江太郎 無事 自宅」

② 避難所等自宅以外にいる場合や、何か連絡事項がある場合は、件名の最初に「緊急」の文字を入れて、状況が整い次第早めに連絡してください。

件名の最初に「緊急」と入っているメールは、開封して本文まで確認しますので、状況を本文で説明してください。

例 タイトル欄に「緊急1A40 淵江太郎 ○○中学校避難所」

本文に「○○小学校に1B38××君と一緒にいます。家族へは連絡済。」

● インターネットが使えない場合

落ち着いて電話をできる状況になったら、学校に電話で連絡をしてください。

2 クラッシーによる緊急時連絡（学校 → 保護者）

緊急時に学校から一斉送信で連絡を伝えます。

※クラッシーは緊急時だけでなく、学校からの諸連絡等にも利用します。

3 学校ホームページによる緊急時情報発信について（学校 → 生徒）

- 本校では、緊急時連絡用に、ホームページによる連絡を行います。東日本大震災のように、メールの送受信に大幅な遅れが出た場合でも、インターネットが使える場合には、ホームページからメッセージを確認できます。

4 ご家庭で話し合って確認しておいていただきたいこと

以下の2点につきまして、ご家庭で話し合いの上、共通確認をしておいてください。

① 災害時における家族の最終集合（避難）場所について

② 家族間の連絡方法について

※ 家族間で複数の方法を決めておいて、優先順位をつけておくことをお勧めいたします。

- （参考）災害時に利用できる連絡方法の一例を示します。

a 災害用伝言ダイヤル171

蓄積伝言数：電話番号当たり20 伝言録音時間：30秒 伝言保存時間：運用期間終了まで

※システムが記録出来るのは800万コール程度。災害が発生した地域により、蓄積可能な伝言数が変わる可能性もあります。一度で有効な伝言を残せるように必要事項を話し合っておくとよいでしょう。

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

保護者家族間での安否確認方法について、東京都防災ホームページに災害用伝言ダイヤルの取扱方法がまとめられているので、参照してください。

東京都防災ホームページ

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/link/1000028/index.html>

b 三角中継

首都圏外に住む親戚等を經由する。

c 具体的な約束を家族で決めておく

「災害時は自宅近くの避難所(小・中学校等)へ行く」など

d インターネットの活用

インスタグラム、エックス等インターネットを活用したさまざまな方法による安否確認